

平成29年度シラバス

学番 4 0

新潟県立栃尾高等学校

教科名	地理歴史	科目名	地理 A	単位数	2
科目の性質	必履修		学年(学級)	1 学年	
使用教科書	高等学校 地理 A 世界に目を向け、地域を学ぶ (第一学習社) 新詳高等地図 (帝国書院)		副教材等	フォトグラフィア地理図説 (とうほう)	

1 学習目標

現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

2 指導の重点

- ① 2 学年、3 学年での選択科目へつながるように、各国の名称や位置関係、大陸と海洋の形状など、基礎的・基本的知識を身につけさせる。
- ② 継続的にノートや白地図ワーク、学習プリントを提出させ学習状態を常に把握する。
- ③ 世界を身近に感じられるよう視聴覚教材や新聞記事、コンピュータなどを利用する。

3 学習計画

月	学習活動 (指導内容)	学習のねらい	時間	評価方法
4 5	第1編 現代世界の特色と諸課題の地理的考察 1章 地球儀や地図でとらえる現代世界 ① 球面で世界を考えよう ② 世界地図の特徴を知ろう ③ 世界観の広がりや地図 ④ 国家の領域と領土問題 ⑤ 国家をこえた結びつき ⑥ 交通機関の発達と縮小する地球世界 ⑦ 情報・通信で一体化する世界 ⑧ 人・「もの」・資本で結びつく世界	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化が急速に進んでいる現在では、平面で認識していた世界を、地球という球面で考えていかなければならないことを学習する。 ・地球儀上の位置の示し方や時差の考え方を学び、時差の計算ができるようになる。 ・メルカトル図法、正積図法、正距方位図法で描かれたさまざまな地図を地図帳(アトラス)やインターネット等を使って集め、その特徴と欠点を理解し、用途に応じた適切な図法を選択できるようになる。 ・国家とは何かを考える。また、さまざまな情報手段を活用して世界の領土問題について調べ、レポートにとめる。 ・交通・通信の発達によって、生活、社会、産業などの関係がどのように変わってきたかを、教科書に掲載されているさまざまな主題図などを適切に活用しながら時系列で理解する。 ・人・「もの」・資本の移動により、国際貿易、国家間の結合などが活発化・複雑化していることを理解する。 	10	授業態度 定期考査 提出物

月	学習活動（指導内容）	学習のねらい	時間	評価方法
6 7	2章 世界の人々の生活を取りまく地球的環境 ①さまざまな環境のなかで暮らす人々 ②世界的視野から見た地形 ③さまざまな地形と生活 ④世界的視野から見た気候 ⑤世界の気候と生活 ⑥世界の民族のさまざまな生活・文化 ⑦生活・文化を支える産業の地域性	・人々の生活様式の差異を、地理的環境とのかかわりから理解する。 ・世界の自然環境は地域的に大きく異なっていることに気づき、現在のような分布になった理由について学習する。 ・世界の自然環境を地形と気候の面から大きくとらえ、なぜ差異が生まれるのか、人間生活にどのように影響しているのかについて理解する。	10	授業態度 定期考査 提出物
8 9 10	3章 世界の諸地域の生活・文化と環境 ①東アジアの暮らしを学ぶ ②東南アジアの暮らしを学ぶ ③南アジアの暮らしを学ぶ ④北アフリカ・西アジアの・中央アジアの暮らしを学ぶ ⑤中南アフリカの暮らしを学ぶ ⑥ヨーロッパの暮らしを学ぶ ⑦ロシアと周辺諸国の暮らしを学ぶ ⑧北アメリカの暮らしを学ぶ ⑨中央・南アメリカの暮らしを学ぶ ⑩オセアニアの暮らしを学ぶ	・世界各地での人々の生活・文化は、その地域をめぐる長い歴史や自然環境に影響を受けることが多いことを理解し、日本の生活・文化を絶対視することなく、教科書の写真・地図を正確に読み取って広い視野から異文化を理解・尊重する態度を養う。 ・世界の諸地域の変化を新聞やインターネットなどから読み取り、他地域で暮らす人々の生活を想像する。	15	授業態度 定期考査 提出物
11 12	4章 私たちが直面する地球的課題 ①地球的課題の地理的な側面 ②人口問題－対照的な人口増大と少子・高齢化 ③食料問題－食料需給のアンバランス ④都市・居住問題－健全で安全な生活環境 ⑤資源・エネルギー問題－せまられる有効な利用 ⑥地球環境問題－21世紀は環境の時代 ⑦地球的課題への取り組みと国際協力	・現在、直面している地球的課題にはどのようなものがあるかに注目し、それらは相互に関連し、地域によって現れ方が異なることを理解する。 ・各地球的課題について、地域性を踏まえて把握するとともにその問題の所在や解決の方向性を図書館やインターネットなどで調べ、話し合う。	15	授業態度 定期考査 提出物
1	第2編 生活圏の諸課題の地理的考察 1章 日常生活と結びついた地図 ①地図をもって生活しよう ②身近な地図を読みこなそう ③地図表現について考えよう ④地形図を活用しよう	・教科書に掲載されている地図に関心をもって参照し、また身近にあるさまざまな地図を収集して、地図を読むことの楽しさを理解する。 ・地理の言語としての地図、作成者の意図により取捨選択されている地図について、目的に応じた地図選択の重要性を理解する。 ・地形図の特徴について理解する。	10	授業態度 定期考査 提出物

月	学習活動（指導内容）	学習のねらい	時間	評価方法
2	2章 自然環境と防災 ①日本の自然と生活 ②自然災害に備えた暮らし 3章 生活圏の地理的な諸課題と地域調査 ①地域調査の方法 ②水とともに暮らす町「白山市」を考える	・教科書に掲載されている写真や地図・図版を適切に参照し、自然災害が多発する日本列島に、豊かな文化が築かれた背景を考察する。 ・自然災害の多い日本列島で、人々の生活に大きな影響を与える火山災害・水害・地震について、現象やこれまで受けてきた被害を理解する。 ・自然災害に備えるためにはハザードマップや緊急地震速報の有用性を認識するとともに、災害に強い地形や環境について理解する。 ・地域調査について、積極的な調査を実施できるよう、地域調査の必要性を理解し、地域調査の基本を身につける。	10	授業態度 定期考査 提出物

4 課題・提出物等

視聴覚教材を用いた授業時の感想文提出や小テストの実施 作業プリントの提出（授業内で随時実施する） 夏季休業中・冬季休業中の課題については別途指示
--

5 評価規準と評価方法

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用の技能	知識・理解
現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追求し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての責任を果たそうとする	現代世界の地理的事象から課題を見だし、それを地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえて公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追求の方法を理解し、その知識を身につけている。
以上の観点を踏まえ、 ・授業の様子（授業態度・発問評価・学習活動への取り組みなど） ・定期考査 ・提出物の状況（作業プリント・休業中の課題など）などから総合的に判断します。			

6 担当者からの一言

毎日ニュースで取り上げられている事柄が、地球上のどこで起こっているのか分かりますか？日本以外の国では、どのような生活をしているのでしょうか。もっと世界に目を向けてみよう。世界中にはさまざまな人々が生活しています。地理Aでは、「世界の中の日本」という視点から授業を行ないます。世界史や日本史がより分かるためにも重要な科目です。しっかり勉強しよう。
--